

領域 4 インフォーマルミーティング議事録

2016 春季大会

2016 年 3 月 20 日 17:00~18:00 東北学院大学 BG 会場

岡本 徹(領域代表)、都倉 康弘(領域副代表)、小林 研介(領域次期副代表)
運営委員

(2015 年 4 月 - 2016 年 3 月)

阪野 墨(東大物性研)、原田 幸弘(神戸大)、中島 峻(理研)

(2015 年 10 月 - 2016 年 9 月)

福島 鉄也(阪大基礎工)、守谷 頼(東大生産研)、塩見 雄毅(東北大金研)

(2016 年 4 月 - 2017 年 3 月)

岡野 真人(慶応大)、秋葉 圭一郎(東京農工大)、内海 裕洋 (三重大)

(2016 年 10 月 - 2017 年 9 月)

山影 相(名古屋大)、菅原 克明(東北大)

【報告事項】

1) プログラム小委員会・領域委員会報告

今回提案したが不採択になったシンポジウムが 1 件あった。理由は一つの領域で 4 件、主催のシンポジウムを提案していたため。一つの領域の主催は 3 件が事実上の上限となっており今後注意する必要がある。

2. 若手奨励賞について

今回領域 4 の奨励賞応募者は理論が 4 名、実験が 4 名であった。その中から以下の 2 名が選出された。

受賞者： 小林 浩二 (上智大学理工学部)、橋坂 昌幸 (東工大理工)

【審議事項】

1. 次期領域代表、副代表の紹介

次期代表： 都倉 康弘、 次期副代表： 小林 研介

2. 新運営委員の紹介、次期運営委員の決定

新委員：岡野 真人(慶応大)、秋葉 圭一郎(東京農工大)、内海 裕洋 (三重大)

次期委員候補 3 名が承認された。

次期委員：山影 相 (名古屋大)、菅原 克明(東北大)、豊田 雅之(東工大)

3. プログラム編成に関して

- 今回の編成作業で気づいた点の確認、反省

特になし

- 領域 8,9 とのトポロジカルセッションの合同開催について
今後合同の可能性を検討する
- 領域 7 とのグラフェンの合同開催について
次回以降グラフェンの合同セッションについては領域 4 と 7 の双方から使用する部屋を出し合って開催する。それぞれの領域からいくつ部屋を出すかについては投稿者数を元に割り振る
- ストレージサービスの利用について(Dropbox)
Dropbox へ移行して現在までに使用に問題はなく今後も Dropbox を活用する。
- 投稿時における合同セッションの希望について
領域委員会において、合同セッションは現在「希望する」のみ選択可能となっており、積極的に希望しない人の意見は反映されないようになっているとの意見がでた。今後は「希望する」、「どちらでも良い」、「希望しない」の選択ができるように検討していく。
- キーワードについて(変更締切 9 月下旬?)
秋季学会では第一キーワードに「局在」を選択した講演者は 0 であった。今回は 2 件であった。一時は「局在」をキーワードから外すという意見もあったが、領域 4 に関連の深いテーマでありまた領域 4 のキーワードを外すと局在をテーマとして研究している人の投稿先がなくなってしまう。よって今後の「局在」のキーワードは残すことにする。

4. 物理学会事務局からの連絡事項と審議事項

- プログラム編集会議の開催方式について（現状維持かネットベースにするか）（意見提出締切 3/31）
物理学会がテンプレート、サーバーなどを用意し、全領域で共通のプログラム作成方法によってネットベースで編集作業を行えば編集会議は単純できき毎回編集会議で集まる必要性もあるという一方で、毎回会って顔をあわせることも必要という意見もあった。最終的に領域 4 全体の意見としては「特に領域会議に参加する必要は感じていない」ということで一致した。
- 希望する領域には領域 ML を物理学会事務局から提供することになった件について
領域 4 はすでに慶応大学所在の ML がある為、前回の事務局からのアンケートでは「現時点では不要」と回答した。今回の IM での議論の末、今後は慶応大学 ML から物理学会 ML に移行することになった。移行の手法としては領域 4 の ML に移行する計画を伝え、ML 参加者が各自で再度新 ML に登録していただくようにする
- 年次会概要集代を参加登録費に含める案について
領域 4 としては、前回の IM でこの案を積極的に支持することにした。今回の IM で話

し合った結果、今後も支持することで決定した。

- 招待講演、若手奨励賞、シンポジウム、企画講演の発表 ppt ファイルを pdf に変換して領域 website に掲載することについて。

領域 9 は掲載する方向で決定。物理学会としては技術、容量にも問題ないため対応可能であるとのこと。領域 4 としては現段階では決定を保留とし、今後実行するかどうかを IM にて検討していくこととする。

5. 秋季大会のシンポジウム・企画講演等について

トポロジカル材料開発の新展開（領域 4 主催）

次世代情報処理技術：イジング型コンピュータ（領域 4 主催、領域 1、領域 1 1 合同）

不揮発メモリの物理と最新動向（領域 1 0 主催、領域 4、領域 8 合同）

-->全てこのまま進めるということで一致。

（注）シンポジウム申し込みの注意

- 招待講演、企画講演、チュートリアル講演、シンポジウムを通じて講演登壇は一回とする。同一部門に所属している場合には、同一グループでないことを明らかにするために研究室名や（理論）（実験）つける。

- シンポジウムの登壇者が特定のプロジェクトにメンバーに集中しないようにする。（新学術領域のメンバーなど）

- 申し込み時点で、所属のフォーマットを統一するなど見栄えを良くしておいた方がよい。

6. 領域 4 ホームページとメーリングリストの管理について

領域 4 HP の運営委員及び ML の担当

1) 領域 HP の更新担当

原田（3月中まで）

守谷（4月から9月まで）

内海（10月以降）

2) 次期メンバーを ML に登録

次期メンバーを ML に登録と 1 年以上たった旧メンバーの削除を山口さん（物理学会）に依頼。その際、領域 4 ML にもメールを cc で送ること。-->連絡は守谷が担当

7. 今後のスケジュール

- * 次期運営委員選定通知 4/4
- * シンポジウム・企画講演等公募締切 4/22
- * プログラム小委員会・領域委員会 5/18
- * インフォーマルミーティング申し込み締切 5/27

- * 一般講演申し込み締切 5/23
- * プログラム編集会議 6/3
- * 秋季大会 9/13~16(金沢大学 角間キャンパス)